

# 部位別提案手法マトリックス

## 改善方針と要素

このマトリックスはまちなみの構成要素とその具体的手法が、どのような効果をまちなみに対して期待できるかを示したものである。

## 表の見方

横の行は要素ごとの部位(建物 ~ 外構 ~ 公共公益 ~ )と、その具体的手法(例:敷地後退など)を挙げ、縦の列は3つのテーマ(安心・快適と調和・楽しみ)ごとに各4つの期待できる効果を並べている。

適用分類(道路幅員と間口幅-4N、4W、6N、6W)は、具体的手法がどの敷地状況により適しているかを示している。

4N:道路幅員6m未満、敷地間口7m未満

4W:道路幅員6m未満、敷地間口7m以上

6N:道路幅員6m以上、敷地間口7m未満

6W:道路幅員6m以上、敷地間口7m以上

たとえば、「建物」「全体配置」「a.後退させる」に該当する事例は2点あり、まちなみ適用分類は「4N」「6N」、期待できる効果として、縦の列の「安心」「圧迫感を緩和する」の項に2事例を紹介していることを示す。

改善レベルは全て「3.新築レベル」となる。

各手法に対し、期待される効果は複数考えられるが、代表的な効果ひとつに印をつけている。したがって、印の数により事例写真の点数が把握される。

## 表の使い方

改善を計画している部位から、具体的手法と期待できる効果を検討することができる。さらに部位別の事例ページを開くと、事例ごとに説明文がある。

また、縦の列の期待できる効果の項目から興味のあるところを開いて索引として使用することも可能である。